

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(地震時荷重と事故時荷重との組合せ, 重大事故と地震の組合せ)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/1/14	NS2-補-023-06	補足説明資料	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.64	一部のSA設備を考慮した場合のPRA評価について、考慮しているSA設備を明確に示して説明すること。	2022/5/16	PRA評価で考慮しているSA施設について、「3. 確率論的な考察」に記載しました。	NS2-補-023-06改01「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」P.64	
2	2022/1/14	NS2-補-023-06	補足説明資料	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.64	P.64の炉心損傷頻度とP.67の炉心損傷頻度について、考慮する事故シーケンスが異なることを明確にし、それぞれの位置付けを説明すること。	2022/5/16	余震、前震を考慮した炉心損傷頻度の評価において考慮する事故シーケンスが異なることについて、「2.1 Ss相当までの本震による全炉心損傷頻度の累積の算出結果」に記載しました。	NS2-補-023-06改01「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」P.68	
3	2022/1/14	NS2-補-023-06	補足説明資料	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.22	表5.2.2-3等に示す有効性評価結果とSA時に地震と組み合わせる条件の関係を明確にして説明すること。	2022/5/16	全般施設について、耐震評価に用いる圧力・温度条件は対象設備ごとに検討する旨を「5.2.1(5)まとめ」に記載しました。 原子炉格納容器バウダリについて、耐震評価に用いる圧力・温度条件を「5.2.2(5)まとめ」に記載しました。 原子炉冷却材圧力バウダリについて、耐震評価に用いる圧力・温度条件はDB条件とする旨を「5.2.3(5)まとめ」に記載しました。	NS2-補-023-06改01「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」P.17,27,28,34	
4	2022/1/14	NS2-補-023-05	補足説明資料	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P.20	クラスMC容器の冷却材喪失事故後の地震と組み合わせる荷重条件について、必要に応じて記載を適正化して説明すること。	2022/5/16	クラスMC容器の冷却材喪失事故後の地震と組み合わせる荷重条件については、LOCA後10 ⁻¹ 年後の原子炉格納容器内圧として大気圧相当を考慮していますが、「3.1.3 (3)」に記載のとおり、その他のケースに包絡されるため、評価を省略しています。	-	
5	2022/3/16	NS2-補-023-06	補足説明資料	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せ	P.74	熱応力の扱いについて、終局状態において鉄筋コンクリート部材に熱応力を考慮しないことが分かるように説明すること。	2022/6/22	終局状態において熱応力を考慮しない扱いとしているのは鉄筋コンクリート構造物であることが分かるよう明記しました。	NS2-補-023-06改01「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」P.75	
6	2022/5/16	NS2-補-023-06 改01	補足説明資料	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.64	DBの範囲を超えるシナリオを抽出している理由について説明すること。	2023/3/1	運転状態Ⅴは「機能維持の基本方針」において、「「運転状態Ⅳを超える事象」に相当するもの」として定義しているため、運転状態Ⅴを地震の独立事象として扱うことの考察においては、DBの範囲を超えるシナリオを対象として確率論的な考察を行っています。	-	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(地震時荷重と事故時荷重との組合せ, 重大事故と地震の組合せ)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～18については、NS2-他-120改02にて整理済みのため省略。						
19	NS2-補-023-05改03	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	目次.P.13	図書内での記載を統一するため、「第二種容器」を「第二種」に適正化しました。	2023/4/21	
20	NS2-補-023-05改03	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P.1	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)VI-2-1-9「機能維持の方針」 (新)VI-2-1-9「機能維持の基本方針」	2023/4/21	
21	NS2-補-023-05改03	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P.19	JEAG4601・補-1984において冷却材喪失事故後最大内圧(PL*)の考慮が要求されていることを明確にするため、注記を適正化しました。	2023/4/21	